

## 知事コメント

令和2年10月26日(月)

1. 本日の新型コロナウイルス感染症の県内新規感染者数は、29名となっており、10月以降、感染拡大傾向が続いている状況です。
2. 本日の警戒レベル判断指標の状況は、療養者数については356名、病床占有率は74.2%、1週間合計の新規感染者数については、242名となっており、それぞれ第4段階に達しています。直近1週間の人口10万人あたり新規感染者数についても、10月3日以降ずっと全国ワースト1位の状況が継続しています。
3. 現在の状況は、宿泊療養施設を増設したことや、病床確保計画の引き上げにより、徐々に病床数が増える見込みである事などから、7月の急激な感染拡大の頃とは異なる状況にあるものの、じわりじわりと感染は拡大し続けております。
4. そのスピードが比較的緩やかであることから、県民の皆さまには危機感が伝わりにくい印象を受けますが、県内の状況は感染蔓延期への移行を懸念する時期にあるものと認識しております。  
県内の感染拡大は、会食や会合により感染し、そのウイルスを職場や家庭等に持ち込んでしまうことによって集団感染に繋がっている事例が相次いでいることが大きな要因であると考えております。
5. 医療現場においても、厳しい状況が続いており、濃厚接触者となった医師やスタッフの休業も多くなってきております。このままの状況が続き、集団感染が多発すると一気に医療提供体制はひっ迫してまいります。
6. このような状況を踏まえ、本日開催した対策本部会議において、「沖縄コロナ警報」を発出し、県民、事業者の皆さまに今一度、感染対策の徹底を要請することを決定いたしました。  
警戒レベルを第4段階に移行させないため、今回の警報で、特に徹底していただきたい内容としては次のとおりです。
  - (1) 会食や会合による感染が拡大しています。  
特に、飲酒を伴う会食では、注意力の低下や、大きな声になりやすい等の要因から、リスクが高まります。そのため、
    - 飲食の際には、目安として5人未満、2時間以内の少人数かつ短時間となるよう、心がけてください。心がけると言うよりも、必ずそうしていただきたい。
    - 深酒、二次会・三次会などのはしご酒などは控えていただき、適度な量の飲酒を心がけてください。
    - 利用される店舗については、きちんと三密の回避策や感染予防策がとられている店舗をご利用ください。併せてシーサーステッカーが掲示されているかどうかをご確認ください。シーサーステッカーにQRコードが添付されている場合には、是非、お知らせアプリ「RICCA」のカメラで取り

込んでください。

(2) 職場内感染が拡大しています。

いくら個人個人が気をつけていても、会社や事業所としての取り組みがなければ、全く不十分です。そのため、

○会社、医療機関、社会福祉施設を初め、各事業者は、職員の検温及び健康管理の徹底など、感染防止対策をお願いします。

○昼食時や休憩時間など、居場所が切り替わると気が緩み、マスクをせず近距離で会話する等、感染リスクが高まることがあります。お気を付けてください。

また、換気や消毒液の設置だけではなく、体調不良の方がちゃんと休める環境作りが重要です。

(3) 家庭内感染が拡大しています。

家族が持ち帰ったウイルスを、別の家族が学校や職場等に広げた事例もあります。そのため、

○帰宅後はまず手や顔を洗い、必ずうがいをしましょう。

○ご高齢の親族と会うときはマスクを着用し、いつもより体調管理に気をつけましょう。

季節の変わり目で、風邪を引きやすい時期です。体調不良時に出勤したり、会食・会合に参加して感染を広げてしまった事例もあります。毎日検温する等により、体調管理に留意し、体調不良の際には無理して出かけず、早めにかかりつけ医やコールセンター(098-866-2129)にご相談ください。

7. 皆さん自身や、皆さんの家族や大切な人を守るため、接触確認アプリ「COCOA」やLINEコロナお知らせシステム「RICCA」のご利用を、よろしく申し上げます。

8. また、去る10月23日に政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会が提言した「感染リスクが高まる【5つの場面】と【感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫】」が発表されました。この内容をみると、現在の沖縄県内の感染拡大防止においても有効な内容となっております。県のホームページからも確認できますので、是非ご覧ください。

9. 県としましては、引き続きインフルエンザとの同時流行を見据え、検査体制や医療提供体制の拡充に努めてまいります。

また、中核市である那覇市については、感染者数が最も多いことから、今後連携をより密にするとともに、県内各市町村とも連携して感染拡大を抑え込んでまいりたいと思います。

10. 県民生活や社会経済への影響を軽減しつつ、感染拡大を抑え込むためには、全ての県民、事業者が一丸となって行動変容し、感染拡大防止策を徹底する必要があります。皆さまご自身と皆さまの周りにいる大切な人たちを守っていきましょう。うつらない・うつさない・医療機関を潰さないためにも、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。